

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第2回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）令和2年度地域活動支援事業について（公開）

（2）令和元年度地域活動支援事業の完了について（公開）

3 開催日時

令和2年6月19日（金） 午後6時15分から午後8時52分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）

市村 学、伊藤光夫、小山和美、荏戸 正、平田 清、平田伸一

山口典夫、吉田一彦、渡部弘美（欠席者なし）

・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、田中主任

8 発言の内容

【田中主任】

・12人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

【竹内会長】

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：小山委員、荏戸委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・資料により説明

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

一次第3議題（1）令和2年度地域活動支援事業について—

【竹内会長】

次第3議題（1）「令和2年度地域活動支援事業について」に入る。

本日は提案があった8事業について、事業提案者からの事業説明と質疑応答のあと、審査・採点と採択を実施する。

正副会長は審査に加わるため、事務局が会の進行を行うこととしてよいかを諮り、委員全員の了承を得る。

【堀川センター長】

- ・提案状況について、第1回地域協議会配布資料No.5により説明
- ・提案事業8件、補助金希望額合計134万7千円
- ・三郷区予算配分額490万円の枠内

審査の流れは、1事業当たり提案者による事業説明を5分以内、質疑応答を7分以内で行ったあと、委員による基本審査を1分間で行う。ここでいったん集計し、委員の過半数が「適合しない」と判断した事業は、基本審査で終了となり、不採択となる。委員の半数以上が「適合する」と判断した事業は、引き続き優先採択審査・共通審査を2分間で行う。

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

審査を始める。

整理No.1「三郷地区の歴史・史跡を研究する事業」について、事業提案者に説明を求める。

【提案者】

- ・事業提案書に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【渡部委員】

支出の費目のうち、謝金に記載されている交通費と高速代の違いは何か。

【提案者】

交通費は燃料に係る経費、高速代は高速道路の使用に係る経費として分けている。

【渡部委員】

消耗品のUSBはどのくらいのギガ数のものか。また、インクカートリッジはフルカラーのものか。値段が少し高い気がする。

【提案者】

現時点では予算のため、値段は多少前後すると思う。消耗品については、正式に見積りを徴取していないので、少し余裕をもって計上している。

【市村委員】

事業の目的及び期待する効果において、「三郷地区の歴史・史跡を後世（特に子供たち）に伝える。」と記載されており、そのスケジュールとして10月に三郷小学校文化祭で成果を発表する予定となっているが、今年度は文化祭を実施しないと聞いている。文化祭以外の場で、子どもたちに研究成果を伝える予定はあるか。

【提案者】

事業提案書を提出した時点では、文化祭があるという前提でスケジュールを設定しているので、文化祭を実施しないということであれば、中止または別の方法を検討したい。

【吉田委員】

レーダーで地中探査をしているとのことだが、どのように探査をしているのか。また、どのような効果が現れているか。

【提案者】

2、3年探査を行っているが、はっきり目立った効果というのは、一般的に見てこれだということは、専門家でないとなかなか分からない面がある。今、いろいろな探査の仕方を考えて、礎石のあった1点を絞って調査することはなかなか難しい

ことから、それを何百メートル四方に囲んでいる、いわゆる回廊をまず探査することが早道ではないかということで、今年はその方向で実施することになっている。その探査方法だが、回廊に沿って探査すると、外れれば全然反応しないので、ジグザグに切って探査すれば必ず繋がることから、今年是这样いった探査の方法も検討することで講師と打合せをしている。9月、10月頃というのは、雨の時期であり、雨のあとは探査機の反応が非常に鈍くなる。雨だとはっきりした成果がでないということで、雨のない日、また、下が乾いている時期に実施するというのが至難の業である。日程の関係もあるので、そういう日を目指して、探査のいいチャンスに恵まれることを祈っている。今年是这样い成果が出るのではないかと期待している。また、11月に予定している国府サミットに2年続けて参加することにしている。盛大に盛り上げるために委員の皆さん方からも協力を願って、ぜひ参加いただけるような段取りを考えたいと思っている。ただ、今年には寺町サミットも同時に行われる予定であるが、どこでやるか、まだ市で検討している最中である。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.1の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.1「三郷地区の歴史・史跡を研究する事業」の審査・採点を終了。

整理No.2「辰尾新田集落内安全・安心対策事業」について、事業提案者に説明を求める。

【提案者】

- ・事業提案書に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【保坂副会長】

防犯灯の設置に当たって、事前協議先である市の担当課や有線放送からは既に承認を得ているか。

【提案者】

これからである。ただ、事前に市民安全課に相談し、防犯灯の設置基準となる間隔について確認したところ、今回の提案内容で示した防犯灯間隔の問題ないとのことであった。

防犯灯は県道沿いと辰尾新田集落の奥に入る一本道に設置されている。今回提案したのは、昭和63年頃に拡幅されて市道になった集落内を縦貫する除雪の本道となっている道である。その道に防犯灯を設置する願いをどこにしたらよいか分からず現在まで至っていた。地域活動支援事業という制度を町内会長になってから知り、地域を良くするために提案した次第である。

【渡部委員】

安全パトロールをしているとのことだが、町内会長が交代しても継続する予定か。

【提案者】

勤めている人はなかなか平日の日中にパトロールをするのは難しい。できるとすれば日曜日などになるかと思う。ただ、次の町内会長が決まったら引継ぎ自体は行う。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.2の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.2「辰尾新田集落内安全・安心対策事業」の審査・採点を終了。

整理No.3 「三郷楽しい健康体操事業」について、事業提案者に説明を求める。

【提案者】

- ・事業提案書に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

参加者から参加費はどの程度もらっているか。また、参加者の内訳を教えてください。

【提案者】

参加者からは1人当たり月に200円参加費をいただいている。参加者の年齢層は30歳前後から70歳くらいまでで、子どもがいる人は出席できる場合とそうでない場合がある。多いときで8人くらいの参加がある。

【平田伸一委員】

参加者は全員女性か。

【提案者】

全員女性である。男性にも参加してもらいたいが、女性が多いため参加しづらいようだ。団体としてはぜひ男性にも参加してもらいたい。

【伊藤善一副会長】

次年度以降の活動について、各町内を会場とするように努力していきたいとの記載があるが、今年度は各町内を回る予定はないか。

【提案者】

今年度は、新型コロナウイルスの影響で難しいので、次年度以降に各町内を回りたいと考えている。有線のページング放送での周知も考えていたが、会場の大きさによって人数が限られ、多くなると体育館を借りなくてはならないと講師からも指導があったため、今年度はこのままの人数で実施したい。

【伊藤光夫委員】

PR方法として今ほども説明のあった有線のページング放送が記載されていたが、たくさんの人に参加してもらうために、回覧板やチラシ作成など、その他の周

知方法は考えているか。

【提案者】

新型コロナウイルスの発生前は、地域で月に1回お茶飲み会があった。その場で、自分たちはこういった活動をしているので誰かいたらどうぞと話していた。

また、今自分が行っている体操を皆さんにも紹介して取り組んでもらい、取り組んだ状況を講師に伝え、また講師から新しい体操を聞いてフィードバックするといった取組も行っている。

【渡部委員】

昨年度のチラシを見ると、料理教室は10人募集していたようだが、今年度の応募が10人を超えた場合は断るのか。

【提案者】

断らず参加していただく。ただし、調理室が10人ほどで定員になるので、1つのメニューを何回かの班に分けるなどして対応することを講師と考えている。

【渡部委員】

講師を再度呼ぶということか。そうすると謝金が増えるのではないか。

【提案者】

1班、2班といった形で分かれていただくことを考えている。

なお、料理教室に関しては、会場で食べるのではなく、全て持ち帰りで行う。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.3の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.3「三郷楽しい健康体操事業」の審査・採点を終了。

整理No.4「西松野木町内安全・防災対策事業」について、事業提案者に説明を求

める。

【提案者】

- ・事業提案書に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

町内会と自主防災組織の関係は、役員及び予算の面でどのようになっているか。
また、ヘルメットや反射ベストはどこに配置するのか。

【提案者】

町内会については、会長・副会長及び協議員、会計のあわせて10人が役員となっている。自主防災組織については、会長・副会長及び協議員、各組長で構成している。看護師なども加わっている。

【平田伸一委員】

組織としては全く別の組織ということか。

【提案者】

町内で組織しているため、重複する部分はある。

【平田伸一委員】

自主防災組織の代表者は町内会長ということか。

【提案者】

そのとおりである。

なお、備品の設置場所だが、反射ベストとヘルメットは町内会館に入ってすぐの通路に設置し、資機材は廊下に設ける保管庫に設置する予定である。すぐに着用できる形にしたいと考えている。

【平田伸一委員】

夜に災害が発生する場合もあるので、ヘルメットや反射ベストは役員に事前に渡しておいた方が、スムーズに対応できるのではないか。

【提案者】

参考にする。それもひとつの方法かと思う。

【市村委員】

既設防犯灯については、平成26年に蛍光灯からLED照明灯に交換したとのことだが、蛍光灯の時から定期的に清掃していたのか。それともLED照明灯に変更してから暗くなりやすくなり、清掃が必要となったのか。

【提案者】

蛍光灯の場合は球自体に虫がつく状態であった。LED照明灯はカバーが付いており、中に虫が入らない構造にはなっているが、実際は小さい虫が中に入ってしまう、外から払って取れない。防犯灯は高い場所に設置されているため、自分たちで登って清掃するのは危険ということもあり、業者に依頼したいと考えている。これまで定期的に清掃を依頼する形にしてこなかったが、蛍光灯は1年から1年半ほどで球が切れてしまうため、球の交換が清掃に代わっていた。

【市村委員】

今後の清掃・点検は町内で行うか、もしくは5年から6年に一度、地域活動支援事業として提案していくのか。

【提案者】

状況を見て、定期的に点検したいと思う。防犯パトロール中に、防犯灯の確認も行っているため、状態に応じて清掃を実施したい。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.4の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.4「西松野木町内安全・防災対策事業」の審査・採点を終了。

整理No.5「さんごう仲間づくり事業」について、事業提案者に説明を求める。

【提案者】

- ・ 事業提案書に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【渡部委員】

昨年度、雑巾は何枚くらい作ったか。

【提案者】

タオルを集めてから雑巾として渡すまで2年かかった。5か所に各10枚弱ほど届けたため、50枚ほど作った。

【渡部委員】

10人のボランティアが5枚ずつ縫ったということになるか。

【提案者】

そのくらいだと思う。ボランティアやエコキッズはこれから先も随時募集したいと思っている。

【伊藤光夫委員】

小学校がボランティアや施設との間で雑巾の受け渡しを行っているとのことだが、雑巾を届ける以外に、施設でお年寄りと交流する考えはないか。

【提案者】

代表の子供が1人で届けに行くので、交流というところまでは行っていない。本格的な交流を希望する声があれば、雑巾プロジェクトではなく、別の機会を設けることで実施可能だと思う。

【小山委員】

自分の子どももボランティアとしてデイホーム三郷へ雑巾を届けに行った。施設の職員も大変喜んでおり、ぜひ団体の活動に関わりたいと言っていたので、いろいろな繋がりができてよいと思う。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.5の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.5「さんごう仲間づくり事業」の審査・採点を終了。

整理No.6「いきいき健康ウォーク事業」について、事業提案者に説明を求める。

【提案者】

- ・事業提案書に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

参加者から参加費はもらわないのか。

【提案者】

参加費はもらわない。

【平田伸一委員】

予算に参加者の保険料が計上されているが、保険料は参加者が負担すべきではないか。本来は参加費で賄うべきではないか。

【提案者】

これまでも同様の事業を提案してきたが、そのような指摘がなかったので、今回も計上して提案した。保険料を計上することがふさわしくないという指摘があれば、今後参加者から負担してもらうことも検討していく。

【平田伸一委員】

個人的にはぜひ検討してもらいたい。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

整理No.6の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.6 「いきいき健康ウォーク事業」の審査・採点を終了。

整理No.7 「ウィンターフェスティバル事業」について、事業提案者に説明を求める。

【提案者】

- ・事業提案書に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

参加費をもらわない理由は何か。

【提案者】

団体として営利を目的として事業を行っているわけではないので、これまでと同様に参加費をいただかない内容で提案した。見直すべき点については、指摘があれば見直していきたい。

【平田伸一委員】

整理No.6の事業と同様に、保険料は参加者が負担すべきだと思うので、今後検討いただきたい。

【市村委員】

参加者数はおおよそ何人くらいを想定しているか。

【提案者】

大型バス1台分として、おおよそ35人から40人程度を想定している。

【市村委員】

事業の対象者が約300人程度と記載されていたので、300人を目標に募集するのであればバス1台では足りないと思う。

【提案者】

300人というのは、三郷区の住民に周知をするという意味での人数であり、事業の参加人数ではない。

【伊藤善一副会長】

大型バス1台で足りるのか。

【提案者】

予算では大型バス1台分の金額しか計上していないので、申し込みが多数の場合は、抽選も検討しなくてはならない。

【渡部委員】

P T Aと共同開催するとのことだが、各町内の子ども会と共同開催できればそこから財源が確保できるのではないか。

【提案者】

この事業に関しては全く話をしていない。また、子ども会独自の事業計画を把握していないため、これからお願いをして関わってもらえるかどうか、この場では何とも言えない。相手のあることなので、意見についてはこれから相談し、子ども会にも関わってもらえるようであれば検討したいと思う。

【渡部委員】

子ども会を通した方が、地域に浸透すると思う。私自身、体育振興会は地区の運動会行事や子どもたちに関わる行事のみをしているイメージがあり、地域にあまり浸透していないという感覚がある。

【提案者】

整理No.6の健康ウォーク事業もそうだが、地域の住民に回覧板等で周知しても、自分たちに関係ないと捉えられがちの部分があると感じている。それに対して団体としてどうすればいいのか、明確な答えが今のところ見当たらない。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.7の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.7「ウィンターフェスティバル事業」の審査・採点を終了。

整理No.8「三郷区魅力マップ作製事業」について、事業提案者に説明を求める。

【提案者】

- ・事業提案書に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

マップ作りというのは、事業を実施するためのひとつの方法や手段、あるいはツールだと思う。この事業の目的や目標は何か。

【提案者】

目的等については、今ほど事業提案書に基づいて説明したとおりである。三郷区の魅力マップを区外あるいは地域に住民に配布することによって、魅力をPRしてもらい、三郷区の人口増に繋がればよいと思う。実績はなかなか上がらないかもしれないが、まずは事業を行うことが大事だと思う。

【平田伸一委員】

魅力マップの配布先として、全戸配布、三郷地区公民館及び三郷郵便局に設置すると記載されているが、これだけでは三郷地区の魅力をPRすることにはならないと思う。他にもいろいろな手段があると思うが、どのように考えているか。

【提案者】

前期の地域協議会の会議の中で、市内外から三郷区に移住してきた人と話をさせてもらった。指摘のあったとおり、三郷区内だけではPRに足りない部分があるので、市外や可能であれば公共施設などにも設置し、三郷の魅力を知ってもらいたい。移住してきた人に、三郷の良い点を聞いたところ、住環境が非常に良く、安心安全な地域だと答えていただいた。そういった点も、マップを作る中で知ってもらいたい。

【平田伸一委員】

定住促進となると、UターンやIターンをどう進めるのかという話になる。例え

ば、同級会の幹事が案内を出す際に、三郷区の現状や住みやすさなどPRしたマップを同封するのもひとつの手段かと思う。

【提案者】

マップの編集委員で検討し、さらには地域協議会委員の皆さんからも意見をもらい作製していきたい。

【平田伸一委員】

例えば2年後、3年後に5世帯が移住するなど、具体的な目標は設定しているか。

【提案者】

現在三郷区の人口は1,300人強である。前期の委員研修の中で、年間で5人ほど人口が増えれば、現在の人口を維持していけると聞いたので、それを目標の一つとして捉えている。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.8の事業について、基本審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート① 記入・回収・集計 —

基本審査の結果、「適合する」と判断した委員が半数以上であることを報告。

続けて、優先採択審査・共通審査を委員に依頼。

— 審査・採点シート② 記入・回収・集計 —

整理No.8「三郷区魅力マップ作製事業」の審査・採点を終了。

これより事務局で集計を行うため、10分間の休憩とする。

— 休憩 —

【堀川センター長】

会議を再開する。

審査・採点結果について説明。

・基本審査で「適合しない」が過半数となった事業：なし

- ・優先採択審査で「該当しない」が過半数となった事業：なし
- ・共通審査の得点が多い順に順位付け（満点は300点）
 - 1位 整理No.4 西松野木町内安全・防災対策事業 255点
 - 2位 整理No.2 辰尾新田集落内安全・安心対策事業 253点
 - 3位 整理No.6 いきいき健康ウォーク事業 232点
 - 4位 整理No.8 三郷区魅力マップ作製事業 230点
 - 5位 整理No.1 三郷地区の歴史・史跡を研究する事業 225点
 - 5位 整理No.7 ウィンターフェスティバル事業 225点
 - 7位 整理No.5 さんごう仲間づくり事業 221点
 - 8位 整理No.3 三郷楽しい健康体操事業 216点
- ・補助金配分額の案は補助希望金額のとおり

竹内会長に採択事業の検討の進行を求める。

【竹内会長】

審査の結果に基づき、採択事業の検討を始める。採択する事業と補助金額の決定を行う。今年度の提案状況として、補助希望額の合計が予算額を下回っていることから、特に意見がなければ提案のあった8件全ての事業について、その補助希望額どおり採択したい。

意見のある委員の発言を求めるがなし。

全ての事業を補助希望額どおり採択することを諮り、委員全員の了承を得る。

次に、附帯意見について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

附帯意見とは、地域協議会が採択された事業の提案者に対して、事業を行うに当たって注意すべき点等がある場合に付す意見である。

【竹内会長】

附帯意見について、意見のある委員の発言を求める。

【渡部委員】

整理No.3の楽しい健康体操教室の補助金については、講師の謝礼のみに使うのではなく、衛生面や体操時の消耗品にも充ててほしい。また、参加費をもらったほう

がよいと思う。

【竹内会長】

今の渡部委員の意見について、意見のある委員の発言を求める。

【保坂副会長】

参加費については、先ほどもらっていると説明があったので、問題ないと思う。三郷地区公民館を使う場合には、入口に消毒液があるし、終わったあとの空気清浄に関しても公民館に設置されているので、大丈夫だと思う。

【渡部委員】

その参加費とは500円掛ける12か月と記載されている収入のことか。講師の謝礼のみに使うことがどうかと思う。

【竹内会長】

講師への謝礼が15回あるうち、どこかの1回分6,000円を参加者で賄うものと自分は理解していた。参加費は毎回一人200円いただくという説明だったかと思う。

【保坂副会長】

提案書の書き方が少し誤解を受けるような書き方になっている。実際には、参加した際に200円ずつ参加費を払うので、平均すると月に500円くらいの収入の見込みとして提案書の収支計画に記載されていたと思う。参加する、しないは、その人の都合にもよるが、参加した場合はきちんと参加費を払っている。

【竹内会長】

楽しい健康体操教室に限らず、先ほどの質疑で保険料や参加費について意見があった。こういう類の事業について、参加費をどうするかという話になる。

【平田伸一委員】

整理No.6のいきいき健康ウォーク事業と、No.7のウィンターフェスティバル事業については、収支計画の支出の費目として傷害保険料等が記載されている。これを個人負担にするべきではないかと言ったのは、例えば公民館主催事業に参加する際、初回参加時に傷害保険相当ということで参加費を個人的に支払っている。市が主催する事業の扱いがそうになっている以上、市の補助金を受けて実施する事業もこれに

準じるべきだと思う。

【堀川センター長】

前回の会議で配布した資料に「令和2年度地域活動支援事業に関するQ&A」という資料がある。その3ページに対象経費一覧があり、事業実施に伴う保険料は対象経費として認められている。委員からの意見を踏まえて、今年度どうするか、来年度以降は参加者から負担してほしいという附帯意見を付すのか、いろいろなパターンがあると思う。また、保険料については、必ず事業者が出さなくてはならないものでもない。

【竹内会長】

今の事務局の説明で、保険料を補助金で支出することについては、対象経費となっているので、今回の提案に関しては特に問題なく、必要経費となるかと思うが、附帯意見とするのであれば、三郷区地域協議会として提案者に付すことになる。このことについて、意見のある委員の発言を求めるがなし。

特に意見がないため、保険料については認めるということで了承いただきたい。

前年度までの例では、屋外で実施する事業に対して、安全面に配慮して事業を実施するよという附帯意見を付したことがあった。今年度も整理No.6や整理No.7の事業は雪山などで子どもたちと事業を実施するため、事業を実行するに当たっては安全面に配慮するよという意見を付した方がよいと思う。このことについて意見のある委員の発言を求める。

【山口委員】

会長の提案どおり、昨年度と同様の意見を付して差し支えないと思う。参加費について、附帯意見を付すのであれば、今後の地域協議会の課題として検討してはどうか。

【平田伸一委員】

今の参加費の件だが、先ほど申し上げたように、市が主催する事業では参加費を払っており、この地域活動支援事業との整合性がない。要望として、来年度以降どうするか、扱いについて真剣に考えてもらいたいと思う。三郷区地域協議会だけではなく、市全体として他の地域でもこういったことがあると思うので、市の立場

でどうするか考えてほしい。

【竹内会長】

採択や提案のルールの改善に関して、今後検討も行うので、その時に委員で協議して、新しいルール作りの中で検討していければと思う。

それでは、整理No.6と整理No.7の屋外での事業に関して、安全面に配慮することを附帯意見としてよいかを諮り、委員全員の了承を得る。

附帯意見の文案については、正副会長に一任でよいか。

【平田伸一委員】

屋外の事業だけではなく、全ての事業について、これから新型コロナウイルスの影響でどうなるかわからない。新型コロナウイルス対策に配慮するといったことも附帯意見として付すべきだと思う。

【竹内会長】

新型コロナウイルス対策の関係であるが、今年度の状況からすれば、新型コロナウイルスの問題に関して配慮するよう求めることは外せないところかと思う。3密を防ぐということは、政府等の話でもあるので、全ての事業に対して、そういう形の中で附帯意見を付すということでよいかを諮り、委員全員の了承を得る。

附帯意見の文案は、正副会長に一任で了承いただきたい。

以上で審査から採択までを終了する。

次に、今ほどの採択結果により、三郷区では490万円の予算に対して、残額が355万3千円となった。この予算残額に対して、追加募集を行うかどうか、意見のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

地域の団体や町内の方は、今回の結果として490万円の予算に達していないことを知らない。また手を上げる団体もあるかもしれないので、今回の結果のお知らせとあわせて追加募集をするべきである。例年も追加募集を行っており、金額的にも大きいので、追加募集するべきだと思う。

【竹内会長】

追加募集するべきとの意見が出たが、新型コロナウイルス対策で各団体ともやり

たい事業を押さえている現状だと思う。今後、新型コロナウイルスが収束するかは分からないが、三郷区地域協議会として追加募集をするということによいか。

【山口委員】

追加募集をしてみて、提案が出るか出ないかは分からないが、アプローチしてもいいと思う。ただ、三次募集まではする必要はないと思う。残念ながら追加募集でも残額が出る場合は、市に新型コロナウイルス対策等に使ってもらえばいいと思う。

【竹内会長】

市から与えられた三郷区の予算でもあるので、ある程度有効に三郷区の中で使えばいいと思う。

追加募集を行うことを諮り、委員全員の了承を得る。

追加募集の内容の案について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・ 募集要項は当初の内容と同じ
- ・ 7月25日発行予定の三郷区地域協議会だより第41号で周知
- ・ 募集期間は8月3日（月）から21日（金）までの19日間
- ・ 審査・採択は9月を予定

【竹内会長】

広報上越の発行が月に1回になったので、事務局の提案が最短の期間になると思う。

事務局の提案について、意見のある委員の発言を求める。

【市村委員】

募集期間が8月3日から21日までとのことだが、お盆も挟むため検討する期間が少し短いと思う。8月末くらいまでの1か月あった方がいいと思う。

【堀川センター長】

募集期間については、委員で検討いただければと思う。ただ、あまり締切を先へ延ばすと、地域協議会での審査・採択が更に先になることが考えられる。提案団体になるべく早く事業に取りかかるには、21日を締切として9月上旬に審査・採択をした方が、事業に早く着手できるという意図でスケジュール案を設定した。締切

を1週間から10日延ばすということは、会議日程も先に延びるということをあわせて考えていただきたい。

【市村委員】

当初の募集期間が4月1日から5月7日までで、応募が8件ということから考えると、追加募集で同じくらい応募があると言われると、どうなるか分からない。予算がいくら残っているかという情報は公にしないのか。

【堀川センター長】

残額については、地域協議会だよりでお知らせする。

【市村委員】

残額を見て、事業を考える人もいると思う。追加募集をした時の提案事業の申込み状況について、どうだったか委員経験者から話を聞きたい。

【山口委員】

第二期で委員を務めていた時に、追加募集をしても最終的に100万円くらい予算が残ったことがあった。なぜ今回こうなっているかと考えると、昨年度までは三郷夏祭り、三郷大運動会がメインとして提案が出ていた。そのほかにも大体300万円近くの予算規模で提案がある。今回、新型コロナウイルスの関係でそういった大きな事業が出てこなかったのが一つの要因だと思う。前期については新型コロナウイルスと関係なく数十万円ほど余ったが、追加募集によって3件ほど提案が出てきた。ただ、今年度は残額が350万円くらいある中、果たして出てくるかというのと、新型コロナウイルスのこともあり、集団で行う事業については難しいと考える。三次募集を行っても同じことになると思う。よって、追加募集だけでよいのではないか。

【竹内会長】

人的な事業については、やはり今新型コロナウイルスの影響もあって出てこない可能性が大きいと思う。出てくるとすれば、多分ハード的なもの、LED防犯灯を設置するとか、防災設備を買うといったような事業が出てくる可能性がある。そうになると、発注してから時間がかかり、年度を超えてしまうなどの懸念もあるから早い期間で募集した方がよい。施行するにしても雪が降ると施行しづらくなる。やは

り募集期間をある程度短くして、早く採択して事業が実施をできるようにという事務局の配慮もあると思う。募集期間は、事務局の提案どおりでどうか。

【平田伸一委員】

お盆期間は、提案に係る見積りをもらいたくても業者が休みになるからもらえない。提案書に添付する見積りの提出に難儀するのではないか。

【竹内会長】

おっしゃるとおり、時期的なものはあると思う。小学校の夏休みもどの程度短縮されるかといった問題もあるし、それに伴い我々会社などもどういった形で夏休みが取れるか分からないところもあるので、このくらいの期間の中で募集し、9月の地域協議会で審査・採択するようなペースがよいと思う。

追加募集については、事務局の提案どおり進めることを諮り、委員全員の了承を得る。

—次第4報告（1）令和元年度地域活動支援事業の完了について—

【竹内会長】

次第4報告（1）令和元年度地域活動支援事業の完了について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

・資料No.1により、令和元年度地域活動支援事業の完了について説明

令和元年度に提案のあった事業のうち、事業変更や事業費の減額により補助金が返納となった事業は6件あり、全ての返納が完了していることを報告する。

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

—次第5事務連絡—

【竹内会長】

次第5事務連絡について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

- ・地域活動支援事業の追加募集は、7月25日号の広報上越にあわせて全戸配布する三郷区地域協議会だよりで周知
- ・募集期間は8月3日（月）から21日（金）までの19日間
- ・審査・採択は9月上旬に開催する地域協議会を予定
- ・次回会議：7月14日（火）午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・当日配布資料

三郷区地域協議会の運営に関する事項

主要事業・プロジェクトの概要

令和2年度上越市「地域の宝認定制度」

ウィズじょうえつからのおたより

【竹内会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。